

# 急性胆嚢炎に対する緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術に関する研究

## 1. 研究の対象

2016年1月から2020年8月までの期間に、当院で急性胆嚢炎に対し腹腔鏡緊急手術を施行された方

## 2. 研究目的・方法

### 【背景と目的】

急性胆嚢炎の治療に関しては、現在 TokyoGuideline18 に基づいた診療を行っています。緊急または準緊急での胆嚢摘出術を行うケースも多く、また術式の殆どを腹腔鏡手術で実施しています。一方で、高度の炎症下での胆嚢摘出術では胆道損傷を併発することがあり、ガイドラインではこれを回避するために開腹手術への移行や亜全摘術を選択する旨を提唱されています。

本研究では当院で施行した緊急腹腔鏡下胆嚢摘出術の安全性=、特に胆道損傷や胆汁瘻といった胆管トラブルについて検討することを目的としています。

## 3. 研究の実施期間

2021年1月21日～2021年4月

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景、手術関連因子、術後合併症の有無等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本県熊本市南区近見 5-3-1 済生会熊本病院

096-351-8000（病院代表）

研究責任者：外科 松本 克孝

以上